

元気

まち物語

2013.2



いしんぴよぴよ隊



代で子どもを見ます。ぴよぴよ隊は大人34人、子ども(0歳〜中学生)67人の総勢101人で、ママやパパ、これからパパ・ママになる方で構成されています。

練習は週2回、水・土曜日にユーパル下関で行っています。出演はショッピングモールや児童館でのファミリー向けコンサートが主で、子育て中の人たちの憩いの場となっています。特に、クリスマスコンサートは大好評のようです。

隊でいんなに助けられています

「隊のメンバーはただのママ友ではなく、心のよりどころです」とバンドマスターの松本睦さん。子育てでは心細くなることや、一人で悩みを抱え込むことも。そんなとき、練習に参加して気晴らしをしたり、ママ友の話を子育ての参考にとりたりすることで、ママ友のつながりが一層強くなるようです。

隊は子どもにとってもプラスに働いています。兄妹のように一緒に遊んだり、けんかしたりもしますが、子ども社会の中で学ぶことが多いそうです。ママたちはげげや病気に細心の注意を払いながら、

子どもたちを見守っています。指揮者を置かないのも、いつでも子どもに絶対が目が行き届くようにするためだそうです。

子どもママも、とにかく楽しく！

1月13日、隊は元気な曲とともに、ゆめシティのステージイベントの幕開けを飾りました。ファミリー向けの曲を中心に会場を盛り上げ、多くの人が行き交う足を止めて、演奏に聴き入っていました。

「何より楽しくやっていたい」と松本さんは話します。親も子どもも楽しめるバンドのスタイルは変えず、今できることを最大限に楽しむ。現在、ベビークラッシュを迎えている隊。春以降に、赤ちゃんをおぶりながら演奏するパパ・ママの活躍が期待されます。

ぴよぴよ隊は、いつもいきやか

隊は、「ISHIN吹奏楽団」という18歳以上の団員で構成され、下関で活動している楽団の姉妹バンドとして、2007年7月に立ち上げられました。団員の一人が、子育てをしながら続けたいということから始まったそうです。練習中も同じ部屋に子どもがいるのが、他とは違うところ。一室を練習スペースと託児スペースに分け、交

- ①隊をリードする松本さん。
 - ②小さな指揮者!? 練習中でも子どもが目が届くから安心です。
 - ③子どもをおぶって練習中の子どもにはいい子守歌のよう。
 - ④本番ステージ横の託児スペースで演奏に興味津々。
 - ⑤そろいのTシャツでゆめシティの本番。
- ★興味のある方は、いしんぴよぴよ隊のホームページをご覧ください!

